

渋谷駅山手線新ホーム 使用開始から5か月 意見交換会を開催!

渋谷駅改良工事に伴い、2023年1月9日より山手線内・外回り同一ホームの使用が開始されました。ホーム体制の主な変更点は下記のとおりです。

旧ホーム	新ホーム
内・外周りそれぞれ立番2人	内・外回りそれぞれ立番1人 (早朝帯は内・外回りあわせて立番1人)
立番2人が乗降状態を監視	立番と車掌が目視とITVで乗降状態を監視

新ホームの使用開始以降、新宿支部へ様々な問題が寄せられたことから、関係する渋谷営業統括センター分会と池袋運輸区分会とで意見交換会を開催しました。

○主な意見

- ・発車メロディ2回は鳴らしてほしい。メロディが短いほど乗降に時間がかかり逆効果になる。乗降終了合図を出しても車掌が閉扉してくれない。後方で乗車中なのだろうと推測できるが、合図を出し続けているうちに前方でも駆け込みが発生してしまう。(駅)
- ・乗車中に乗降終了合図を出されると、立番に煽られていると思ってしまう。車掌用ITVが新設されたが設置位置が悪く、目視～ITV～合図器の視線が定まらない。(車掌)
- ・そもそも合図を出すタイミングや掲出する長さなど、教育されたことがない。(駅)
- ・立番1人化によって乗降終了合図～ドア閉扉のタイミングが合わなくなった。(共通)
- ・会社は「ITVで視認性が確保されている」と言うが、側灯は見えても線路が見えなくなった。偶然通りかかった警備員がお客さま転落を発見したこともあった。(駅)
- ・駅員が見えていない線路に進入するのは怖い。(運転士)

渋谷駅山手線ホームは危険だらけ!?

問題の解決・安全性の向上に取り組んでいきます!